



重要文化財 旧鈴木家住宅 主屋再建250年

初公開！

紙屋の本座敷と秘蔵の屏風



■会場 旧鈴木家住宅
(豊田市足助町本町20番地)

入場無料・申込不要
※来場者多数の場合、整理券を配布します。

■2026年 10/24 (土) 10時～16時 10/25 (日) 10時～15時

■主催 豊田市 ■問合せ 豊田市 文化財課 足助分室 (電話：0565-62-0609)

紙屋の本座敷と秘蔵の屏風

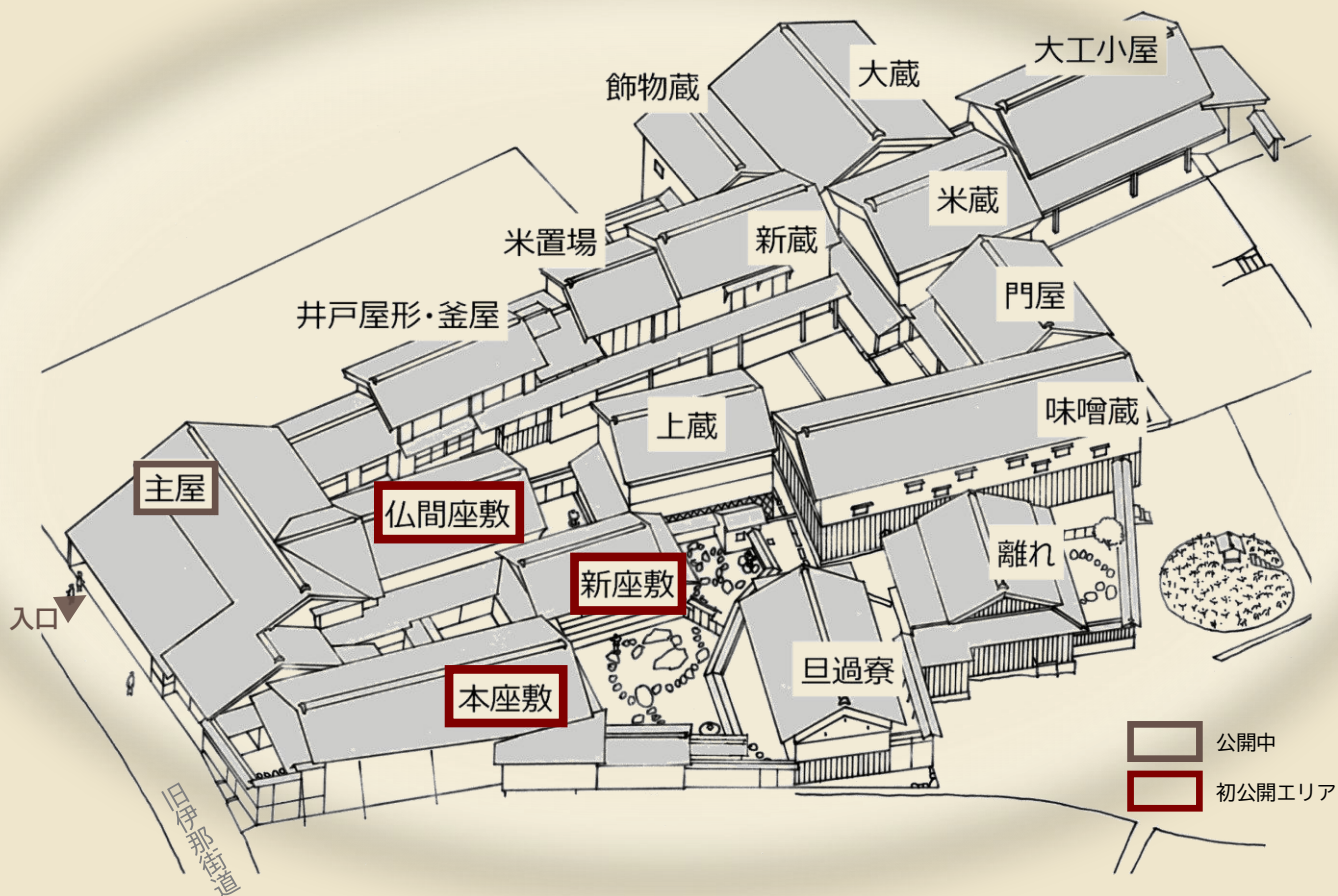
■紙屋鈴木家について

鈴木家は屋号を「紙屋」と称し、かつては紙のほか、味噌や漆などを扱っていました。後に紙漉き職人への前貸しから始まった金融業、土地経営などで財をなし、江戸時代に長く足助を治めた本多家を支え、商家でありながら家臣として認められる等、江戸時代末期に隆盛を極めました。

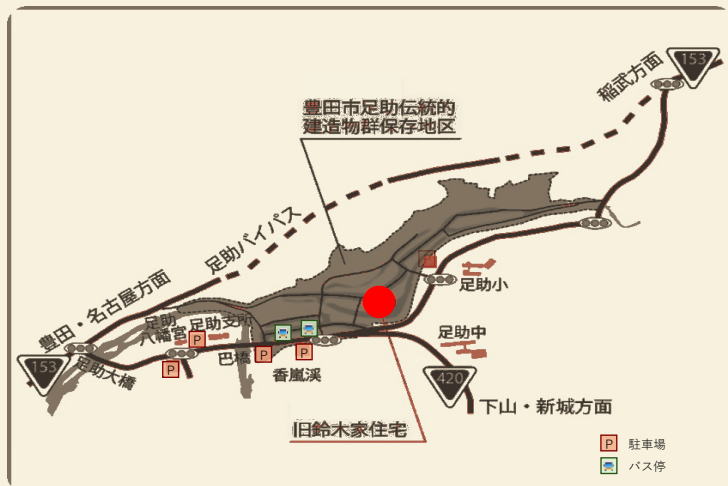
■初公開の座敷と四季風俗図屏風

主屋は足助の町を焼き尽くした安永の大火の翌年（1776年）に再建され、令和8年で再建後250年を迎えました。

これを記念して、旧鈴木家住宅の「3つの座敷（本座敷、仏間座敷、新座敷）」を初めて公開するとともに、本座敷には紙屋鈴木家に代々伝わった、英一蝶の作と言われる「四季風俗図屏風」を展示します。



■会場へのアクセス



名称 旧鈴木家住宅
(重要文化財・平成25年8月7日指定)

所在地 愛知県豊田市足助町本町20番地

交通機関 名鉄バス「香嵐溪一の谷」下車徒歩約5分
おいでんバス「一の谷口」下車徒歩約5分

■駐車場はありません

足助支所駐車場又は周辺の有料駐車場をご利用ください。